

審力



今回は審力（よく考えて判断する力）です。何かの決断をするとき、様々な状況を考えて判断しなければならないことがあります。本日の防災教室、職員応急手当講習会、ロイロノートを使った宿題提出、どれをとってもその内容に応じてよく考えて判断することが大切になります。

防災教室では、土砂災害の恐れがあって避難するときに5つだけリュックに入れて避難するとしたら何を選ぶかを様々な状況や避難した後のことを考えて、それぞれがしっかり理由をイメージしながら決めていました。

職員応急手当講習会では、事前の役割分担をせずに実際の場面を想定して、救急車が到着するまでの約9分間を教職員だけで実際に救助しました。発見者の的確な指示と集まった先生方の自主的な行動で、救急隊が到着するまで救助活動が続けることができました。「よく考えて判断する力」は児童だけでなく、教職員もしっかりと身に付けていかなければならないと思いました。

6/17 広島みんなで減災一斉防災教室を行いました！



「土砂災害の恐れがあります…」の放送を聞いて、1分40秒で3階へ避難完了



講師を務めていただいた一般社団法人ひろしま防災減災支援協会 代表理事 柳迫長三さん



子供たちを引き付け、とても分かりやすくお話していただきました



土砂災害の危険があるとき、絵の中から5つ持ち出すとしたら何をもち出すかを思案中！



持ち出すものを決めたら、色を塗ってその絵を切り出します



このようなアルミシートが1枚あるだけで寒さから身を守ることができることを体験しました

柳迫代表理事さんも2014年8月20日に安佐南区、安佐北区を襲った土砂災害の経験者で、その時の経験をもとに、自分の命は自分で守ること、どのタイミング（出ている警報等、雨量）で避難するのか具体的に教えていただきました。正しい知識をもとに、自分で判断して、「避難する」「避難しない」を決断する大切さを学びました。ご家庭でも今一度、災害発生時の避難等について話し合ってみてください。

6/17 職員応急手当講習会を実施しました！

6月17日に職員応急手当講習会が実施しました。事前に学校応援隊の方にも「参加されませんか」と連絡をし、当日は小川さんと末光さんが参加してくださいました。大崎上島消防署の署員さん3名が講師として来てくださり、資料を見ながらの理論講習や人形を使っの救命救急実技講習を受けました。東野小学校では、6月19日から水泳の授業が始まります。ここで学んだことを生かす場面は起きてほしくないですが、万が一のことを想定して毎年この時期に講習会を行っています。いざという時、発見した人の判断、指示が重要になります。要救助者を発見した際、その場面に遭遇した際には躊躇することなく救助活動に参加できるように教職員と応援隊の参加者は、真剣に講習会に臨みました。



応急手当の大切さについて講義を受けました



応援隊の方にもグループに入っていただきますは見学



胸部圧迫をしながら、AEDの準備をします



応援隊の方にも実際に胸部圧迫とAEDの装着を体験していただきました

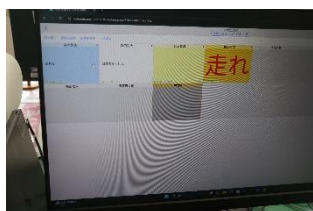


子供用の人形を使っの胸部圧迫は、片手で行います

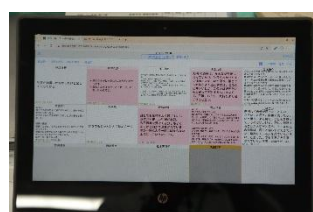


実際の場面を想定しての訓練も行いました

6/16はロイロノート記念日



6月16日に音読の音声提出する宿題を実施しました。



普段は、道徳の時間や総合的な学習の時間の意見交流で使用



6月16日は「ロイロ」と読めますよね。東野小学校では、6月16日をロイロノート記念日として、ロイロノートを使った宿題を出しました。普段からロイロノートを使うようにしていますが、この日は特に意識してロイロノートを使うようにしました。音声や録画面がどのように先生に伝わるか撮り直しを含めてこれで提出していいかをしっかりと判断して提出ボタンを押します。